



縁石覆うゴムカバー

陸上トラックムラタ産業が開発

鉄骨製造のムラタ産業 英社長は、陸上トラック内側の縁石を覆うシリコンゴム製のカバーを開発した。足が触れてもケガをしにくい軟らかい素材を使い、競技者の心理

ステンレスがむき出しになった既存の縁石と、カバーで覆った新製品

的な負担を減らす。2016年度中に国際陸連の認証を取得し、17年度から販売する計画。20年の東京五輪で主会場になる新国立競技場での採用も目指す。

一般的にステンレス製の縁石はカバーで覆わず、むき出しになっている。同社はカバーとともに、ステンレス製縁石より小型・軽量のアルミニウム製縁石も開発し、セットで販売する。カバーは脱着可能で、破損した場合は部分的に補修できる。トラックは競技場ごとにカーブなどの形状が異なるため、縁石は全て注文生産だ。価格は400円超でトラックで数百万円。

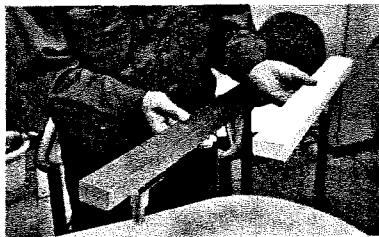
新開発のカバーと縁石はセットで同程度の価格に設定する。まず学校の陸上施設などに売り込む。同社は建材などの鉄骨が主力で、1980年代半ばから縁石を製造している。味の素ナショナルトレーニングセンター(東京・北)やアンカピッグスワンスタジアム(新潟市)など公認陸上競技場から学校施設まで国内約400カ所で縁石の設置実績がある。

鉄骨製造のムラタ産業（東京・江戸川、村田俊英社長）は、陸上トラック内側の縁石を覆うシリコンゴム製のカバーを開発した。足が触れてもケガをしにくい軟らかい素材を使い、競技者の心理的な負担を減らす。2016年度中に国際陸連の認証を取得し、17年度から販売する計画。20年の東京五輪で主会場になる国立競技場での採用も目指す。

一般的なステンレス製縁石はカバーで覆わず、

2020 TOKYO

陸上競技 縁石軟らかく



むき出しになっている。同社はカバーとともに、ステンレス製縁石より小型・軽量のアルミニウム製縁石も開発し、セットで販売する。カバーは脱着可能で、破損した場合

ムラタ産業

シリコンゴムでカバー

ステンレスがむき出しになった既存の縁石と、カバーで覆った新製品は部分的に補修できる。

トラックは競技場ごとにカーブなどの形状が異なるため、縁石は全て注文生産だ。価格は400円トトラックで数百万円。新開発のカバーと縁石はセットで同程度の価格に設定する。まず学校の陸上施設などに売り込む。同社は建材などの鉄骨が主力で、1980年代半ばから縁石を製造して販売している。味の素ナショナルトレーニングセンター

選手の不安軽減

（東京・北）やデンカビッグスワンスタジアム（新潟市）など国際大会を開ける公認陸上競技場から学校施設まで国内約400カ所での縁石の設置実績がある。

競技者からは「縁石は硬いので、万一站立した怖い」という声があった。同社は2年ほど前から、軟らかいカバーの開発を検討してきた。

東京五輪に向けて陸上競技熱が高まり、施設の改修・新設需要も増えるとみられる。村田社長は「国立競技場への納入も目指したい」と話している。